

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	狂犬病予防注射接種事業			520115	担当課	生活交通課		
	開始年度	平成12(2000)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	横山 晋			
	歳出費目	款) 衛生費	項) 保健衛生費	目) 環境衛生費	決算附属資料	152	頁		
	施策の大綱	自然環境の保全・共生の推進			関連計画等	-			
	施策名	人と自然が共生する社会を推進する			根拠法令等	狂犬病予防法			
	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	○ 狂犬病予防法に基づく狂犬病の予防接種の実施。							
	対象者	市内で飼養されている犬	対象者数	約4,200頭	一人当たりコスト	-			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 公益社団法人京都府獣医師会							
	事業概要	犬の登録管理。 ○ 狂犬病の予防接種の委託。 ○ 定期集合狂犬病予防注射の実施。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		賃金		臨時職員賃金			1,298		
旅費		旅費			7				
需用費		案内ハガキ・鑑札・済票 他			173				
役務費		電話料、郵送料			351				
委託料、使用料及び賃借料		京都府獣医師会事務委託、複写機使用料			702				
関連事業	なし								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		2,785	2,815	2,742	2,755		
		補正予算等・・・②		0	0	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
		財源内訳	一般財源		0	0	0	655	
			国支出金		0	0	0	0	
			府支出金		192	132	151	195	
			地方債		0	0	0	0	
			その他特財		2,593	2,683	2,591	1,905	
	特定財源名称 (H29実績)	狂犬病予防接種犬新規登録手数料			726	手数料	14 頁		
		狂犬病予防接種注射手数料			1,179	手数料	14 頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.44/0	0.49/0	0.49/0	/			
	概算人件費・・・④		3,520	3,920	3,920				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			6,305	6,735	6,662				
執行状況	執行額・・・⑥			2,693	2,531				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			96.7%	89.9%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		予防接種率	%	78.1	75.5		100		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		予防接種頭数	頭	3283	3216		4200		
		単位あたりコスト		0.8	0.8				
			-	-	/				
	単位あたりコスト		-	-					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	○ 狂犬病予防法により、狂犬病の感染拡大を阻止する必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	○ 狂犬病予防注射により、狂犬病の発生を抑える。(発生なし)
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	○ 狂犬病の発生を予防し、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進のために必要である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	狂犬病予防注射接種率は京都府全体では65%程度となっているが、本市では約80%と高い水準を保っている。しかし、毎年微減傾向にあるため、100%接種を目標に接種率の向上のため、更なる広報等の充実が必要である。	
	今後の課題及び方向性	4月に集合注射を実施しているが、件数が増加しない。開業医での注射件数を含めた全体の注射率を上げるための手法の検討が必要。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律に基づく必要不可欠な事業であり、継続して実施する必要がある。 ・集合注射において、本市では多くの予防注射実施会場を設ける等きめ細やかな対応がなされており、それが予防接種率の高さにつながっていると考える。 ・クリニックで接種を受ける場合 <ul style="list-style-type: none"> ①②獣医師会が市へ注射済料を飼い主から預かって納める(@550円/件)③市が獣医師会へ委託料を支払い(@300円/件) ・というお金の流れになっている。(金額は後刻、自分で調べたので違うかも)…ということであれば、1件につき、客は医者へ550円を支払い、医者はそこから330円を天引きして、市へ220円支払う、という流れ(自治法施行令第164条の繰替払)に改めれば、無用の事務、キャッシュフローがシンプルになると考える。 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	<p style="text-align: center;">内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狂犬病の予防接種の委託及び犬の登録業務を継続し行う。 ・委託料の支払いについて検討した結果、現行通りが最適と判断した。 	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充 	<p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	